

## 議員派遣報告書（閲覧用）

令和5年11月24日

岐阜県議会議長 様

岐阜県議会議員 伊藤 秀光

下記のとおり議員派遣業務が終了しましたので、報告します。

記

派遣目的	岐阜県産品のPR活動と岐阜県産品の流通事情の調査や観光事情の調査。
------	-----------------------------------

行程表（別紙のとおり）

派遣成果（詳細は別紙のとおり）

日付	成果の概要
7月12日	・台湾岐阜県人会との懇談会に出席
7月13日	・台湾交通部観光局長と知事の面談に同席 ・台湾観光協会秘書長と知事の面談に同席 ・誘客商談会 岐阜県知事、高山市長、白川村長のプレゼンテーションに出席 ・楽天桃園球場 視察 ・誘客キャンペーン記者会見に同席 ・飛騨牛フェア販売店視察 ・飛騨牛プロモーションに出席
7月14日	・GAS（グローバルアンテナショップ）候補店「治器台北店」で開催中の岐阜県フェアの視察と知事と面談の席に同席 台湾からシンガポールへ

7月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「FollowMeJapan」西村社長との面談に同席</li> <li>・GAS店舗「supermama スーパーママ」で開催中の岐阜県フェアを視察・知事と面談の席に同席</li> <li>・GAS店舗「atomi アトミ」で開催中の岐阜県フェア視察・知事と面談の席に同席</li> </ul>
7月16日	<p>シンガポールからマレーシアへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨牛海外推奨店「ドン・ドン・ドンキ」認定式に出席</li> </ul>
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Apple Vacations」会長と知事との面談の席に同席</li> <li>・県産品取扱店「TSUTAYA」視察 クアラルンプールから日本へ</li> </ul>

県政に活用できる事項

県担当課	内 容
農産物流通課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飛騨牛の更なる認知度向上と販路拡大に関すること</li> <li>・台北市内大手食肉卸売業者メイフルグループの直営レストラン台湾にて飛騨牛のプロモーションを行った</li> <li>・ジャック・リー メイフルグループ CEO から「飛騨牛をベストセラーにしたい」と力強いお話をいただいた。</li> <li>・台湾のプロ野球チーム「楽天モンキーズ」の試合にて、インバウンド復興の重要な年に「岐阜県デー」のイベントが開催され、飛騨牛のPRとなる焼肉スペースの席があることには驚いた。</li> <li>・マレーシアのクアラルンプールの「ドンドンドンキ」では、飛騨牛の海外推奨店の認定銘板贈呈式が行われ、同店ではイスラム教徒も多いマレーシアなので「ハラル」認証を受けた飛騨牛を販売していた。</li> <li>・知事の言われるコロナ禍で人は動かなくても物は動けるとの信念から、着実に飛騨牛販売も伸びており、台湾では18店舗、全世界では64店舗を数え、今後更なる拡大が望まれる。</li> </ul>

観光誘客推進課

- 台湾、マレーシアと岐阜県との相互交流に関すること
- ・全体として体験型地方観光、長良川鶺鴒、世界遺産、伝統文化など岐阜県の魅力をアピールした。
- ・台湾では修学旅行等若い方と相互訪問の提案が出され、その実現に向けスタートした。
- ・台湾プロ野球にて「岐阜県デー」という冠試合を開催し、岐阜県の観光地の宿泊券や記念品のプレゼントにより観光誘客の一助となっていた
- ・2009年以來、岐阜県と深いつながりのあるプライムトラベル、その先代の後を継がれて訪日旅行を中心に事業を展開するフォローミージャパンの西村社長から、先代の岐阜県の世界遺産、伝統工芸、情熱あふれる人材も多いことと、トレッキング、ウォーキングなど体験プログラムもできるとお話いただいた。今後は関ヶ原、養老温泉も訪れたいと積極的な発言があり、今後の展開にも期待したい。
- ・マレーシアでは、大手旅行会社アップルバケーションズを訪問した。トップお二人が日本への留学経験があることは強みであり、2009年以來コミュニケーションをとってきたアップルバケーションズのリー会長からはコロナ禍でも3年間連携支援を続けてくれたことへの感謝の言葉があった。
- ・コロナ後のトレンドは、安全・安心がしっかりしたグルメが重要であり、イスラム圏の方のためにハラール認証も必要。

<p>県産品物流課</p>	<p>●岐阜県産品の海外流通拡大に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾では、GAS 候補店「復興治器（ドツワ）台北店」を視察し、岐阜県の工芸品店オーナーの林建華氏が建築デザイナーでもあり、岐阜県の工芸品の繊細さや質の高さを高く評価してもらい、作家との技術交流も望まれ、古田知事からは是非岐阜にお越しくださいと話され、今後の相互交流が期待される。</li> <li>・シンガポールでは、県産品フェア開催中の GAS2 店舗を視察し、2015 年から美濃焼などの販売で協力をいただいている「スーパーママ」のオーナーから、岐阜の匠の技術とシンガポールのアーティストとのコラボレーションの提案をいただいた。</li> <li>・もう 1 店舗の「マトミ」は 2 回目の訪問でした。 ご夫婦で経営されておられ永いおつきあいから、「岐阜県がシンガポールに浸透してきた、これからはサステイナブルな商品や木や紙など様々な素材を活用した商品を」と話され、モノから人の交流もとても前向きな話し合いとなり、今後に大いに期待が持てた。</li> <li>・マレーシアでは、日本でも有名な「蔦屋書店」を訪問し、本店舗は、令和 3 年 7 月にオープンしたばかりではあるが、岐阜県産のうちわなどを扱っていただいております、これから現地のニーズに合わせた商品を販売していくと力強く話された。</li> </ul>
<p>国際交流課</p>	<p>●県人会との国際交流を通じた海外戦略に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 4 年に岐阜市で開催されました岐阜県人会世界会議には、世界 23 カ国からの参加があり、盛大に開催されたことにより、台湾では台湾岐阜県人会の方 16 名との意見交換会、懇談会が開かれたことは、今後の台湾との交流にとっても、可能性が広がることだと感じた。</li> </ul>
<p>収集資料 (別添のとおり)</p>	

## 日 程

日付 曜日	午前 午後	渡航先国・地域 訪問地名	使用交通機関	日 程 の 概 要 訪問予定先名称等	宿 泊 先
7/12 (水)	午後	台湾 台北	NH853 13:20 15:50	羽田空港発 台北松山空港着 台湾県人会との懇談 (台北泊)	HOTEL METROPOLIT AN
7/13 (木)	午前 午後	台湾 台北	専用車	台湾交通部観光局長との面談 台湾観光協会秘書長との面談 誘客商談会、誘客キャンペーン 視察 楽天桃園球場視察・面談 飛驒牛フェア視察 (台北泊)	同上
7/14 (金)	午前 午後	台湾 台北 シンガポール	専用車 SQ877 14:20 18:55	GAS 候補店(治器台北店) 視察 台北桃園空港発 シンガポール・チャンギ空港着 (シンガポール泊)	カールトンシテ ィホテル
7/15 (土)	午後	シンガポール	専用車	Follow Me Japan 社長、JNTO シ ンガポール所長との面談 GAS 店舗(supermama、atomi)岐 阜県フェア視察 (シンガポール泊)	同上
7/16 (日)	午後	シンガポール  マレーシア クアラルンプール	SQ114 12:35  専用車 13:45	シンガポール・チャンギ空港発 クアラルンプール空港着 飛驒牛海外推奨店(ドン・ド ン・ドンキ) 視察 (クアラルンプール泊)	ブルマン・クアラ ルンプール・シテ ィセンター ホテル &レジデンス
7/17 (月)	午前 午後	マレーシア クアラルンプール	専用車 JL724 22:50	Apple Vacations 会長・社長 との面談 県産品取扱店(TSUTAYA) 視察 クアラルンプール空港発	
7/18 (火)	午前		7:05	成田空港着	

**台湾・シンガポール・マレーシアにおける  
「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の推進についての報告書**

私はこの度コロナ後、初のインバウンドの回復のため、岐阜県の観光 PR と海外への県産品輸出に向けた古田知事のトップセールスに、台湾・シンガポール・マレーシアと同行できたことはとてもいい体験となりました。特に古田知事の国際的なネットワークの広さと、これまでの積極的な取り組みの成果を間近に見ることができたことも議員として意義深いものを感じました。

私自身、過去の海外派遣については、知事と同行しても議会の代表として議長が同席することから、自分自身で各視察先にある大使館・領事館・JETRO・JNTO・クレアなどの視察先を行程に組み込み、視察目的のテーマを決め、前述の視察先に積極的にアポイントをとり、岐阜県との交流促進を深めてきましたが、今回は知事と同行できる場所が多くあり、過去の派遣とは異なった目線で視察することができ、とても貴重な体験となったと同時に、とても緊張感が高まる派遣となりました。

【7月12日】

**台湾岐阜県人会との懇談**

日 時：令和5年7月12日（水）18：30～21：00

場 所：立法院康園国会餐廳（台湾の立法院内にあるレストラン）

出席者：〔相手方〕浅井克裕（あさいかつひろ） 台湾岐阜県人会幹事役 他 県人会会員計  
16名

〔岐阜県関係者〕 知事、商工労働部長、観光国際部長

〔県議会〕 伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

台湾岐阜県人会の浅井克裕氏（日本の空調のトップメーカー ダイキンの台湾総代理）の司会進行のもと始まりました。

出席者の自己紹介をお聞きしていると、日本の企業でいうところの支店長のような方が多くみえました。中には焼肉屋さんを起業して、多店展開して頑張ってみえる方や留学生もみえました。

また当初視察を予定していた日本台湾交流協会の（JNTO 台湾）の経済部主任である有田雄子氏もみえ、コロナ後の経済・観光関係などについて話が弾みました。多くの岐阜県人と台北市でお会いでき、又、私の席の周りには垂井町など西濃地域の方をご配慮いただき、地元の話をはじめ、様々に交流ができました。昨年、岐阜県人会の世界大会が岐阜市で開かれたこともご縁かと思いました。

高山市の田中市長より、飛騨地方の宴会でいつも唄われる「めでた」が唄われ、白川村の成原村長よりユーモアあふれる「しめの言葉」が出るなど和やかな雰囲気のまま進み、様々な方と交流できた台湾最初の夜は、とても有意義なひとときとなりました。

**考察**

昨年開催された岐阜県人会世界大会を契機とし、交流が深まった台湾岐阜県人会の方々と直接交流する機会をいただき、今後の若者の交流や地元岐阜との新たな交流に向けた考えを共有することが出来ました。

一議員として、私の地元にゆかりのある方と交流し、地元の良いものをさらに発展、展開していきたいと感じました。

【7月13日】

**(1) 台湾交通部観光局長との面談**

日時： 令和5年7月13日（木） 10：00～10：45

場所： 台湾交通部観光局

出席者：〔相手方〕 張錫聡(ちょう・しゃくそう)台湾交通部観光局長

黄易成（国際組長）

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際部長、観光国際戦略アドバイザー

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

〔民間〕 県観光連盟常務理事 野尻陽子 穂高荘山のホテル取締役

今回の渡航において、知事が2020年9月にオンラインで会議した、台湾の行政交通部観光局長、台湾観光協会秘書長と直接面談することができたことはとても有意義でした。

張局長から「知事本人にお会いできてうれしいです。2020年高雄の会議で提言しました、和紙でできたランタンを令和5年2月から開催された台南400周年のランタンフェスティバルに出展していただいたことに感謝します」と話されました。そして「コロナ前の2019年、台湾から岐阜県への宿泊者は約18万人まで伸びており、それは岐阜県にある世界遺産の白川郷合掌村の存在が大きく、親日家も多いことから、以前の需要を取り戻したい」と話され、特に日本と台湾の友好が長く続くためにも修学旅行を利用し若い方の交流を促進することが有効であるとともに、一般の旅行客向けの優遇措置として、5,000円分のクーポン券を発行しているとのことであり、今回は是非とも岐阜で会いたいとのことでした。

一方、古田知事からは、「2020年のオンラインによる会議は、有意義なものでした。台湾との交流はコロナ禍であっても出来るだけ続けようとの思いがあり、人は行けなくても物は動ける」と話されました。そして飛騨牛の最大の輸出先である台湾には、飛騨牛の特約店が18店舗もあり、岐阜県にとって力強いパートナーであることから、今後の交流の要であると感じました。

そして、張局長から、「今年に入って1月～5月に140万人以上の台湾人が日本に観光等で行っているが、日本から台湾にはわずか26万人です。コロナに関する基準を解除したのもっと来てほしい」と話されました。

古田知事からは、「台湾では女優川口春奈さんが台湾観光大使に任命されたことは、岐阜県にとってもNHK大河ドラマ「麒麟がくる」にて濃姫を演じられて以来、シンボルとなった川口春奈さんですから、台湾への観光について岐阜県をあげて応援していきます」と話されました。



## 考察

両都市の交流は、コロナ禍以前から互いに極めて重要なものであり、コロナ禍であってもモノの交流は頻繁に行っていました。アフター・コロナの現在では、改めてヒトの交流を促進することが重要であり、特に修学旅行を通じて若者の交流を盛んにしたいという言葉には未来を考える意味で大変重要であり、協力していきたいと感じました。



## (2) 台湾観光協会秘書長との面談

日 時：令和5年7月13日（木） 11：00～11：50

場 所：台湾観光協会

出席者：〔相手方〕 簡余晏（かん・よえん） 台湾観光協会秘書長  
鐘逸寧 副秘書長 他2名

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際部長、観光国際戦略アドバイザー

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

〔民間〕 県観光連盟常務理事 野尻陽子 穂高荘山のホテル取締役

冒頭、簡観光協会秘書長から「岐阜県は魅力的で、白川郷が合掌村と呼ばれ有名である。合掌村といえばみんな情景が分かる」「訪台、訪岐ともに、コロナ以前に数字を戻したい」といった意見が出たのに対し、知事からは「若い人の相互交流が大事であり、子どもの交流や修学旅行など、ぜひお互いに深めていきたい」と応じるなど、今後の相互の送客・誘客を更に活発にし、相乗効果に向けた連携を確認しました。

加えて簡秘書長から「台湾から岐阜県へのリピーターが多いのは観光資源、食、焼き物の魅力が素晴らしい。台湾も様々な観光資源があるため、議員の皆さんをはじめ是非台湾へお越しいただきたいと伝えてください」と我々に話されました。

高山市長からは「本市には台湾の方10万人に泊まっていたり、常にトップです。市民は台湾の方に親しみを感じている」と発言があり、白川村長からは「コロナ前はご家族で毎年4泊5日していただく方もみえました。岐阜県への海外観光客216万人のうち約半

分の 108 万人の方が台湾人で一番多く、わずか人口 1500 人の白川村でお迎えしています」とありました。

また、飛騨温泉郷の野尻県観光連盟常務理事からは「台湾からのお客様が少しずつ戻ってきている状況である。私自身も年 2 回は台湾に来ていました。今後、2019 年のコロナ前の人数に戻ってほしいと思っている。他国ではシンガポール、韓国人は戻ってきている。台湾のお客様はリピーターが多く、4 回以上のお客様 60% も占めており、今後さらに岐阜県へお越しいただきたい」と話されました。

### 考察

台湾からの訪日客はコロナ前に戻りつつあるが、日本からの訪台客はまだ戻り切っていないことが今回の面談で分かりました。

単なる観光客と観光地という一方的な関係ではなく、日台相互に交流できる取組みを通じて、永続的に関係を築いていく必要があると感じました。



### (3) 誘客商談会挨拶・視察

日 時：令和 5 年 7 月 13 日（木） 13：15～14：00

場 所：台北喜來登大飯店（台北シェラトングランデホテル）

出席者：〔台湾側〕 航空会社 5 社 10 名、旅行会社 86 社 144 名 計 91 社 154 名

〔日本側〕 岐阜県、富山県、長野県の観光誘客関係者、事業者 他 計 50 名程度

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、観光国際部長

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

〔民間〕 県観光連盟常務理事

〔出展者〕 地場産品事業者 1 社、宿泊事業者 9 社、美濃加茂市、恵那市

午後からは本県他、富山県・長野県との民間事業者で組織する「海外観光客誘客推進協議会」が主催する、台湾からの訪日旅行客に向けた商品造成や旅行商品販売をする現地観光運

輸関係事業者と、日本側のインバウンド関連観光事業者による商談会において、地元代表として、古田知事、田中高山市長、成原白川村長が、それぞれプレゼンテーションを行う場に立会いました。岐阜県からも美濃加茂市や恵那市などが観光PRのブースを設けてPRしていました。

会場は大勢の旅行関係者、ふるさと自慢の自治体職員で熱気に包まれていました。残念ながら私の地元である大垣市のブースはなかったものの、大変盛況な商談会でした。

商談会では、現地で人気の日本旅行商品の販売を更に伸ばしたい台湾側、また台湾から多くの観光客を迎え入れたい日本側双方の事業者により、熱心な商談が行われました。

参加した事業者からは、「コロナが明け、日台様々な事業者が一堂に会する非常に貴重な機会で、良い商談を行うことができた」「サイクリングやトレッキングなど自然や健康に関する特別な体験が好評で興味を持ってもらえた」といった声が聞かれました。

#### 考察

様々な観光業種や自治体が参加した本商談会では、観光誘客を継続していくため、各業種の協力が必要不可欠であり、体験型の旅行にシフトするなど、観光客の多様化するニーズにこたえていく必要があると感じました。

また、観光資源が埋没していかないよう、県や市町村によるプロモーション活動を継続し、地域の情報を発信し続ける努力を行っていきたいと思います。



#### (4) 台湾プロ野球チーム「楽天モンキーズ」連携・誘客キャンペーン発表

日 時：令和5年7月13日（木） 面談・球場視察 15：20～16：00

記者会見・飛騨牛試食 16：00～16：45

場 所：楽天モンキーズ球団事務所・楽天桃園野球場

出席者：〔相手方〕 川田喜則（かわだよしのり） 楽天モンキーズ球団副董事長

大石幸潔（おおいしともゆき） 同ゼネラルマネージャー

高木浩（たかぎひろし）JTB 台湾社長（面談のみ）

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、観光国際部長、農政部長

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

〔民間〕 県観光連盟常務理事 野尻陽子 穂高荘山のホテル取締役

櫻井宏 J A 岐阜県中央会会長

山内清久 J A 全農岐阜運営委員会会長 飛騨牛銘柄推進協議会長

西村寿文 J A 全農岐阜県本部長 岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長

台湾北部、桃園市を本拠とする人気プロ野球団「楽天モンキーズ」のホームグラウンドを訪問。9月6日に誘客キャンペーンを含めた「岐阜県 Day」を開催することを発表した。

球場の外野スタンドには、特別に飛騨牛などを焼いて、食べながら、飲みながら野球が観戦できるスペースがいくつもあり、開催時にはとても賑わうことだろうと感じました。野球の試合中に飛騨牛を食べながらの観戦は格別なものになると期待します。また同日の「岐阜県 Day」では、飛騨高山や白川郷、奥飛騨温泉郷、下呂温泉、長良川温泉など、観光地の宿泊券をプレゼントするほか、観光名所の PR ブースや、飛騨牛の試食コーナーを設ける予定であり、古田知事は球団と連携したキャンペーンについて、「台湾と岐阜をつなぐ導きの糸としてイベントを出発点にしたい」と語り、球団の川田 CEO は「球団は台湾と日本を結びつける役割を担う必要があり、岐阜と日本のインバウンド復活の最重要地と位置付けている」と述べられ、冠試合での岐阜 PR へ意欲を示した。

楽天側からは、「日本企業で唯一台湾に拠点を持つ球団として、台湾と日本を結びつける役割がある」「インバウンド復興の最重要の年なので、イベントを成功に導きたい」といった発言があり、知事からは「全く新しい、今までにない方法であり、多くの方に PR できることを期待したい」「アフター・コロナにあって岐阜が動き出したことを伝えたい」と応えました。記者会見では、ミナモと楽天球団のマスコットキャラクター「猿氣(ウエンチー)」に加え、人気のチアリーダー「楽天ガールズ」も同席して、撮影会が行われました。出席した記者からは、「9月6日の岐阜県の紹介動画や宿泊券の抽選、飛騨牛の試食などの様々な催しを楽しみにしている」といった声が出ました。

### “ミナモが始球式”

#### 台湾プロ野球の楽天モンキーズと連携し「岐阜県 DAY」を開催！

視察中に県と楽天モンキーズより冠試合が観光地の温泉宿泊券や記念品が当たる「岐阜県デー」と称して9月6日に行われる予定でしたが、台風の影響で9月11日に行われました。

#### 1 日時・場所

- (1) 開催日時：令和5年9月11日(月)18時35分試合開始(17時開場)※現地時間
- (2) 開催場所：楽天桃園野球場(楽天モンキーズのホームスタジアム)
- (3) 試合：楽天モンキーズ 対 味全ドラゴンズ

(4) 来場者数（観客数）：6,142 人

(5) 試合結果：楽天モンキーズが7対1で味全ドラゴンズに逆転勝利

### 考察

旅行者を通しての誘客キャンペーンとは違い、人気プロ野球球団の試合を通じて、知事も言われるように、全く新しい試みで素晴らしいと感じました。とことん新しいことにチャレンジしてほしいです。

「岐阜県 Day」と銘打った試合もあり、新しい試みで岐阜県をPRし、観光ツアーの紹介と優れた県産品（飛騨牛・和紙・陶器・木工）を紹介することも大切です。

台湾といえば一つの中国と主張する中国との関係が心配されるわけですが、世界広しといえど、台湾ほど親日的な国はないのではないかと思います。東日本大震災の折にいち早く多額の義援金を寄付してくれた国です。そしてそのことを多くの国民も誇りに思っていると聞いており、大変ありがたいことです。

私は、個人的には、岐阜観光ツアーの一つに西濃の関ヶ原古戦場や俳句奥の細道むすびの地記念館も仲間に入れてほしいと発言しました。





## (5) 飛驒牛プロモーション

日 時：令和5年7月13日（木） 記念撮影・視察 18：35～18：45  
飛驒牛プロモーション 18：50～21：00

場 所：メイフル直営レストラン「Fresh & Aged Italian Steak House」

出席者〔相手方〕

（メイフルグループ） ジャック・リー メイフルグループ CEO  
ゴードン・リー グランドメイフルホテル 董事長  
ハンク・リー メイフルグローバル（美福貿易） 董事  
ティナ・ヤン メイフルグループ企業顧問  
ミラー・ウー メイフルグローバル（美福貿易） 採購經理 他  
メイフルグループの関連企業・取引先 約20名

（現地要人等） 泉裕泰（いずみひろやす） 日本台湾交流協会台北事務所代表  
竹田亨（たけだとおる） 日本航空株式会社台湾支店長

（メディア・インフルエンサー） 10名

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、農政部長

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔市町村〕 高山市長、白川村長

〔民間〕 櫻井宏 J A岐阜県中央会会長

山内清久 J A全農岐阜運営委員会会長 飛驒牛銘柄推進協議会長

西村寿文 J A全農岐阜県本部長 岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長

仮屋園康人 台湾全農インターナショナル(株)GM

玉理美月 台湾全農インターナショナル(株)営業部

台北市の大手食肉卸売業者メイフルグループの直営レストラン「フレッシュ&エイジド」にて飛驒牛のプロモーションを実施した。1階のお店には、飛驒牛商品がたくさん販売されていました。玄関入口には、我々古田知事一行を歓迎する横断幕が用意されており、その気配りには驚きました。レストランではグループ関係者や現地メディア、岐阜県の飛驒牛関係者など約50人が出席してセレモニーが行われました。

メイフルグループのジャック・リーCEOのご挨拶の後、古田知事からは「飛驒牛に関して台湾は世界最大のお客様。さらに多くの人に知ってほしい」と挨拶されました。次にJA全農岐阜の西村寿文県本部長が飛驒牛の魅力をPRしました。セレモニーが終了すると参加者は飛驒牛のステーキや朴葉みそ焼き、スープなどを試食し、素晴らしい雰囲気の中プロモーションも進み、メイフルグループCEOと古田知事は今後の連携を確認しました。

またプロモーション後半では別室にて、ジャック・リー メイフルグループ CEO と古田知事、日本台湾交流協会泉台北事務所代表ご夫妻を囲んで食事をしながら、台湾を取り巻く

国際情勢や台湾と岐阜県の今後の交流についてなど、懇談できたことは意義深いことでした。ちなみに台湾人は栗が好き、ということ話から、個人的なことですが家内が中津川の「川上屋」ということもあり、栗きんとんの話で盛り上がりました。

途中、ジャック・リー メイフルグループ CEO と古田知事は招待された関係者の席を回りながら、飛騨牛など岐阜県の PR を兼ねて関係者を歓迎されました。

### 考察

ジャック・リー メイフルグループ CEO は古田知事との面談で「必ず飛騨牛をベストセラー商品にする」と力強い言葉で語られ、今後の飛騨牛の取り扱いに協力する姿勢を示されたことはありがたいことです。ここまでの人間関係を構築されてこられた古田知事はじめ関係者に感謝申し上げます。台湾の飛騨牛はまだまだ売れると思いました。



【7月14日】

(1) GAS 候補店「治器（ドツワ）」台北店視察・面談

日 時；令和5年7月14日（金） 10：00～11：00

場 所；治器（ドツワ）台北店

出席者：〔相手方〕オーナー 林建華（りん・けんか）氏

〔岐阜県関係者〕知事、観光国際戦略アドバイザー、商工労働部長

〔県議会〕加藤大博議員、伊藤秀光議員

台湾の GAS（グローバルアンテナショップ）候補店「復興治器（ドツワ）台北店」を訪問し、県産品を取り扱ったフェア「岐阜県工芸品店」を視察するとともに、オーナーと知事が面談・意見交換する場に同席し、様々な話を伺わせていただきました。

フェアでは、美濃焼の食器やカップ、飛騨の木工家具などの他に、手すき和紙で彩られたランプシェードも注目を集めました。オーナーの林建華氏が、県産品について「工芸の繊細さと質の高さが素晴らしい」と評価されていることに嬉しく思いました。自身が建築デザイナーでもあることから、「工芸品の輸出入だけでなく、職人との技術交流を深めていくとともに、デザイナーや富裕層など影響力のある人をターゲットに、長く岐阜の魅力を伝えていきたい」と今後の展開を述べ、知事からはオーナーの林さんは「作家の目線で岐阜の文化を理解してくれている。ぜひ岐阜にお越しいただき、岐阜県の良さを実感してほしい」と話されました。

林オーナーは店内を案内しながら「多くの客が岐阜の工芸品の繊細さや質の良さを認識している。デザインやアイデアの交流をもっと深めたい。そして展示だけでなく作家との技術の交流も深めたい」と話されました。

林オーナーや奥様の温厚なお人柄にふれ、こうした方に岐阜県の物産を売っていただくということは、とても安心感が生まれました。

考察

林オーナーは建築家でもあり、物を見る目も優れており、その目で岐阜県が誇る陶器・木工に目をむけてもらえたことに感激しました。古田知事も言われましたが、ぜひ一度岐阜県にお越しいただきたいです。

この GAS 候補店の視察を終えて、午後のフライトで台湾から第2の訪問地シンガポールに向かいました。





## 台湾の視察を振り返って所見と考察

2泊3日という短い台湾視察でしたが、ほぼ知事と同行することによって、行政のトップとの交流、近隣県も含めて誘客キャンペーンへの参加、飛騨牛キャンペーン、岐阜県 Day を冠試合にするなど、楽天モンキーズの視察はとてもユニークな観光企画と驚きました。そして大手食肉卸売業者の社長さんは、必ず飛騨牛をベストセラーにすると力強く話されました。

仲の良いご夫婦が経営する GAS（グローバルアンテナショップ）候補店では陶器・木工等の販売に力をいれておられます。台湾と岐阜県の関係が益々伸びることと思いますが、西濃地方にも歴史文化の拠点がいくつもあります。焼肉街道と言われるロードもあり、もっともっと西濃との結びつきも増やしていきたいと感じました。

【7月15日】

**(1) 大手訪日旅行会社「Follow Me Japan」社長面談**

日 時：令和5年7月15日（土） 11:20～12:00

場 所：シェラトン・タワーズ・シンガポール

出席者：〔相手方〕 社長 西村理佐氏

マネージャー 阿部雄太氏

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、観光誘客推進課長

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

〔民間〕 吉田和弘 刃物屋三秀関刃物ミュージアム代表取締役社長

今回の視察において、久しぶりにシンガポールの訪問の機会を得ました。シンガポール最初の視察先は、「岐阜旅行ブーム」の「父」と言われた大手旅行会社プライムトラベルの会長をつとめた西村紘一氏、通称「ベンさん」の後継者を訪ねました。西村氏は2019年3月に亡くなられておられますが、長女の西村理佐氏が社長を務める訪日旅行部門を法人化した「Follow Me Japan」を訪ね、岐阜旅行の復活への連携を話し合いました。

西村社長から、亡き父で初代社長でもあった西村氏が語った旅行会社の果たす役割をお聞きしました。人生のたった数日かもしれないけれど、ツアーの時間は単なる旅ではなく、旅行を通じて一生の思い出に残る時間を差し上げる責任があるという信念をいつも話されていたそうです。

また西村氏は亡くなる前に一言、想像できないことが起きたら、55名の社員を10名以下にせよ、と言われていたそうです。まさにコロナ禍で現実のことになりました、と先代のエピソードをいくつも聞くうちに、私ばかりか、同席した者も涙ぐんでいました。

そして西村社長は、4年ぶりに対面で再会した古田知事に、西村氏が常々語っていた言葉を紹介され、「岐阜県には永く受け継がれた伝統文化が多く、思い出に残る時間を差し上げることができる特別な場所と合掌造りの白川村、和紙、陶器、木工、そして情熱的な人が多いのが岐阜だ」と父の代から続く岐阜への思いを語られました。この言葉は本当にうれしいかぎりです。

私は、今回、大手訪日旅行会社「Follow Me Japan」の西村社長と古田知事が面談されるところに初めて同席できたことは、素晴らしい体験となりました。特に西村社長の中にある先代の西村氏の存在の大きさと、2009年の古田知事のトップセールス以来、岐阜県とのつながりの大きさについて知りました。古田知事はじめ執行部関係者の心配り、気配りの人間力によるものではと感じました。

西村社長との面談では、今後の岐阜県への誘客促進に向けた連携などについて意見交換しました。社長からは、「シンガポールは知的好奇心が高い人が多い。受け継がれた伝統文化が多い岐阜という地域の魅力を更に学び、知的好奇心の高い方々にも岐阜を紹介してい

きたい」と発言があり、一例として今年2月に行った歴史的な街道が残る観光地「妻籠、馬籠」方面の8泊9日の旅行では、途中4kコースと8kコースのウォーキングの体験プログラムがあり、万が一に備えて医療班も同行していると聞きました。お客様の安全・安心の気配りをしっかりされてみえます。また関市のモネの池にも行かれた話をされ、池の鯉の中にハートマークの鯉がいることなど、同席した関の刃物屋三秀関刃物ミュージアムの吉田代表取締役社長も話に加わり、笑いも出るなどとても良い雰囲気の懇談会になりました。

西村社長から今後力を入れたいところは関ヶ原、養老温泉と西濃地域の話をされ、とてもうれしく思いました。

知事からは「世界に通用する観光地をつくるため、岐阜未来遺産という制度を作った。こういったサステイナブルな観点でも文化を広めていくため、今後も連携の強化をお願いしたい」と応じました。

#### 考察

先代からとても岐阜県を大切にそして愛してくださっていることがよく理解できました。その上、感動的なお話もあり「Follow Me Japan」さんとは県として今後も互いに協力していきたいと思いました。先代と今日まで固い絆をつくられてきたことに感謝いたします。



#### (2) GAS店舗「Supermama」スーパーママ岐阜県フェア視察・面談

日 時：令和5年7月15日（土） 14：00～14：45

場 所：Supermama

出席者：〔相手方〕 オーナー・デザイナー エドウィン・ロー氏

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、商工労働部長

〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

GAS 店舗「Supermama」はアジア文明博物館内にあります。そこで開催中の県産品フェアを視察するとともに、オーナーと知事が面談・意見交換する場に同席し、話を伺いました。

シンガポールの知識階級がメインの顧客層である「Supermama」とは、2015年から連携を始め、美濃焼などの販売で協力を得ています。オーナーのエドウィン・ロー氏は、美濃焼について、「様々なバリエーションがあり、想像力豊かな点が魅力である」と述べられました。また、「岐阜の匠の素晴らしい技術と、シンガポールのアーティストとのコラボレーションにより、シンガポールの政府や企業のシンボルとなる商品製作を促進させたい」と今後の抱負を語られました。古田知事が「作家のインスピレーションを与えるきっかけになれば」と応じました。



### (3) GAS グローバルアンテナショップ店舗「atomi」アトミ岐阜県フェア視察・面談

日 時：令和5年7月15日（土） 15：45～16：30

場 所： atomi

出席者：〔相手方〕 共同代表 アンドリュー・タン氏、同 村野美都子氏  
〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、商工労働部長  
〔県議会〕 加藤大博議員、伊藤秀光議員

GAS 店舗「atomi」における岐阜県フェアを視察しました。「atomi」店内には美濃焼を中心に展示されていました。

共同代表のアンドリュー・タン氏からは、「長年岐阜のものを取り扱い、販売のみならず現地向けに商品開発などのサポートをする中で、岐阜がシンガポールに浸透してきたと感じている」、「サステイナブルな商品や木や紙など様々な素材を活用した商品など、先進的な県産品を今後紹介していきたい」そして「コロナでもモノの交流はできた、今後は人の交流の機会を深めていきたい」と話されました。

「atomi」さんは私も2回目の視察と記憶しています。長いおつきあいがあるようでアットホームな雰囲気のおかげで視察できました。隣の席では現地の方による日本酒のきき酒を楽しむ方々がみえました。

## GAS 2 店舗の考察

シンガポールで岐阜県産品の美濃焼、和紙、木工などサステイナブルな商品を展示販売しているグローバルアンテナショップを視察でき、それぞれに特長を生かしたお店の雰囲気がありました。

「atomi」では説明の傍ら、ご主人が赤ちゃんを抱いてみえる姿が印象的でした。どちらの社長さんも温厚で落ち着いたとてもいい雰囲気の中で面談が進みました。私はどんな組織、会社もリーダーの人柄が一番大切であると思っています。そうした観点から知事の近くで2つの GAS 店ともに大変満足のいく説明を聞けました。お二人の社長さんによって将来益々岐阜の県産品が拡大していくものと信じています。もちろん岐阜県サイドの古田知事はじめ執行部関係者のこれまで築いてこられたご努力も忘れてはいけなかったと思います。

なお、西濃の「木升」「ひょうたん」も県産品として今後展開いただくことも検討いただけたらいいのでは、と思いました。



【7月16日】

**(1) 飛驒牛海外推奨店認定式**

日 時：令和5年7月16日（日） 16：20～16：50

場 所：JONETZ by DON DON DONKI Lot 10 店

出席者：〔相手方〕 パン・パシフィック・リテール・マネージメント・マレーシア（PPRM）社  
福田貴史 代表取締役社長

〔岐阜県関係者〕 知事、農政部長

〔県議会〕 伊藤秀光議員

〔民間〕 山内清久 J A全農岐阜運営委員会会長兼飛驒牛銘柄推進協議会長

西村寿文 J A全農岐阜県本部長兼岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長

16日の昼にシンガポールをたち、いよいよ最後の訪問地マレーシア・クアラルンプールに到着した。クアラルンプールでは永くクアラルンプールに住んでいる日本の友人や、以前マレーシアの学校を視察した時の先生を訪問するチャンスもあり、とても楽しみにしていました。

最初の視察先は、JONETZ by DON DON DONKI Lot10 店（ジョーネツ バイ ドン ドン ドンキ ロットテン）において、飛驒牛海外推奨店認定・銘板贈呈式が行われ、飛驒牛銘柄推進協議会の山内清久会長が認定証、古田知事が銘板を手渡すところに立ち会いました。飛驒牛海外推奨店は、飛驒牛を年間50キロ以上使用し、輸出入業者の推薦を受けた販売店や料理店を認定する制度で、今年3月末時点で世界12か国64店舗を数えます。

銘柄推進協議会の山内清久会長からは「ドンドンドンキー社の創業者は岐阜県大垣市出身で私にとっては高校の一つ上の先輩にあたられます。飛驒牛が自然豊かな場所で生産されていることをしっかりPRしながら、飛驒牛海外推奨店の名前に恥じないように頑張って売っていく」との挨拶がありました。

同店は、日本のドン・キホーテより高級路線で比較的裕福な買い物客が多く、今回の認定で富裕層への飛驒牛の認知度向上を図っていく方針です。マレーシアはイスラム教徒が多く、同店は戒律に従って処理された「ハラール」の認証を受けた飛驒牛に注目し、2021年12月から飛驒牛の販売を始めました。店舗には特設コーナーや串焼きの屋台を設けており、連日大勢の来店客が商品を買って求めています。

店舗内の飛驒牛売り場を視察した古田知事は、「素晴らしい自然と美しい川の恵まれた飛驒牛は評価が高く、飛驒牛をパッケージで売り込みたい」と話されました。

**考察**

飛驒牛をはじめ鮎のお店も世界に広がりつつあり、日本食文化の広がりとともに、器、食

器など岐阜県の地場産業を活用したパッケージで売り込む、と知事も話されており、岐阜県産品の海外展開の夢は広がります。なお、イスラム世界にとって必要な「ハラル」認証をいち早く取得できる体制が整えられていることは岐阜県の強みです。知事の先見性だと思いますが、こういったことによりイスラム圏にも夢は広がります。



【7月17日】

**(1) Apple Vacations 社 会長、社長との面談**

日 時：令和5年7月17日（月） 9：50～11：15

場 所：Apple Vacations 本社

出席者：〔相手方〕Apple Vacations 社

リー・エ・ホー（Dato'Sri Lee Ee Hoe, Jp）会長（創業者）

コー・ヨック・ホン（Dato'Sri Koh Yock Heng）社長（共同創業者）

ティアン・カイローン（Tiang Kai Loong）氏

マーティン・テー（Martin Teh）氏 他3名

〔岐阜県関係者〕知事、観光国際戦略アドバイザー、観光誘客推進課長

〔県議会〕玉田和浩議員、伊藤秀光議員

〔民間〕吉田和弘 刃物屋三秀関刃物ミュージアム代表取締役社長

翌17日（月）午前には、本プロジェクトの2009年開始以来、常に現地連携事業者としてタグを組んできた大手旅行会社の「Apple Vacations 社」のリー・エ・ホー会長、コー・ヨック・ホン社長から社内の各部署の説明を受けた後、知事を囲んで面談の席が設けられ、永くお付き合いがあることを感じました。

お二人からは、これまでの連携事業や今後の商品造成などについて意見交換が行われました。会長からは「コロナ禍において、日本との連携がほとんど無くなる中、岐阜県だけが我が社への連携及び支援を3年間継続していただけた。心より感謝申し上げる」との言葉があり、社長からは「コロナ後のトレンドは安心・安全に加えて、グルメが益々重要になっている」との発言がありました。知事からは「最近ハラル処理された飛騨牛に加えて、鮎もマレーシアへ輸出して好評である。ぜひ、岐阜県への新たな食のツアーを組み、食べに来ていただきたい。引き続き、今後も連携していきましょう」「コロナ禍で落ち込んだマレーシアからの訪日旅行客について、2倍以上に増やしたい」と応じました。会長は、昨年岐阜県を訪れた際に、鵜飼を観覧され、「貴重な体験だったので多くの人を連れて行きたい」と話されました。

学生時代に日本に留学していた経験があるリー会長とコー社長は、日本のおもてなしの文化に心を打たれ、帰国後恩返しの思いから訪日旅行専門の会社を立ち上げられました。現在は他国への旅行も手掛け、マレーシアを代表する旅行会社となっております。

「鵜飼は昔と変わらない鮎の漁を体験でき、岐阜を訪れるマレーシアの方にとって貴重で欠かすことができない思い出になることでしょう」と、リー会長は岐阜に対する思いをこのような言葉で語っておられました。昨年8月には、リー会長が添乗する訪日ツアーで東京や京都、富士山などを回る日程に、岐阜の長良川鵜飼の鑑賞と長良川温泉の宿泊を加え、岐阜への愛を形で表されました。これからは、日本の地方や体験型の観光に関心が高まって



いるところであり、古田知事と今後も連携していくことを約束しました。

#### 考察

アップルバケーションズさんとの永い交流とコロナで苦しんでいる時の物を通じての連携交流は心打たれるものがありました。一つ一つの気配り、心配りに努力されてこられた古田知事はじめ執行部関係者に感謝申し上げます。

これからは新しい出発だと感じました。リー会長が岐阜の鵜飼を体験されてみえることは強みです。これからはぜひ歴史遺産や焼肉をセットした西濃地域にも目を向けていただきたいと感じます。



#### (2) 蔦屋書店視察・面談

日 時：令和5年7月17日（月） 14：00～14：50

場 所：ブキット・ジャリル 蔦屋書店

出席者：〔相手方〕 蔦屋書店マレーシア社 上本英之 代表取締役社長

松下昇平シニアゼネラルマネージャー

〔岐阜県関係者〕 知事、観光国際戦略アドバイザー、商工労働部長

〔県議会〕 玉田和浩議員、伊藤秀光議員

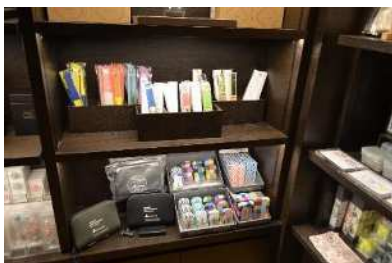
午後からは、クアラルンプール市南西部ブキット・ジャリルにある岐阜のうちわなどを扱っている蔦屋書店を訪問し、現地の市場動向、嗜好や県産品の更なる取り扱いについて、蔦屋書店マレーシア社の上本英之代表取締役社長と意見交換しました。

社長からは「岐阜県には質の高い製品があると聞き、昨年7月のオープン時から県産品を取り扱っている」と述べたうえで、「質の高い製品をより多くの人に訴求していくため、現地のニーズに合わせた商品の販売を進めていきたい」と今後の展開を語られました。この時に大垣出身の方が蔦屋書店の関係者の中におみえになり、驚きました。

#### 考察

9万点の書籍を販売する蔦屋書店の中でうちわなど県産品も販売していただいていることに感謝すると同時に、いろいろ多角的に戦略を練ることの大切さを感じました。

岐阜には素晴らしい県産品と観光地がたくさんあります。今後の販路拡大とインバウンド回復に期待したいです。古田知事はじめ関係者のご努力に感謝申し上げます。



### 総括

古田知事は一連の3か国の視察を終えて18日帰国に際し、同行記者団に次のように話されました。「コロナ禍で止まっていた時計の針が間違いなく動きだした。さまざまな蓄積がしっかり根付き、岐阜の観光や食、ものづくりへの評価が高まっている。積極的に交流を進めようという強い熱意を感じた」と総括されました。

私自身も古田知事はじめ執行部関係者と同行していて全く同じ思いを感じました。コロナ禍にあって、「人は動けなくても物は動く」の信念で貫かれてきたことが、今から人も動き出して、いよいよ花ひらく時が来たと確信した1週間でした。今後も、今回の視察を知事とともに行動させていただいた経験を活かし、地元の特産品・観光地等を様々にアピールし、県政発展に繋げていきたいと感じました。

ありがとうございました。